

地域公共交通網形成計画策定に向けたとりまとめの方針

■背景

- ◇人口減少や高齢化が進展する中、地域社会の活力を維持・向上させるために地域公共交通が果たす役割は増大
 - ⇒市民の通院、通学、買い物などの日常生活上不可欠な移動の確保
 - ⇒まちづくりの骨格となる交通網の形成において、拠点間を結ぶ交通ネットワークの適正化が必要
- ◇地方公共団体が先頭に立って、関係者との合意形成によりまちづくり等の地域戦略と一体となる持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することが重要

■地域公共交通網形成計画に定める事項

- ◇持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ◇地域公共交通網形成計画の区域
- ◇地域公共交通網形成計画の目標
- ◇前号の目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項
- ◇地域公共交通網形成計画の達成状況の評価に関する事項
- ◇計画期間
- ◇前各号に掲げるもののほか、地域公共交通網形成計画の実施に関し、当該地方公共団体が必要と認める事項

■地域公共交通網形成計画における記載内容

1. 地域公共交通に関する基本的な方針

- ・ 始良市が県央の地理的優位性を活かし、県内一住みやすいまちづくりの実現を図るために、基本方針を定める。

【基本的な方針例】

- ⇒多様なニーズに見合った生活を支える地域公共交通を形成する。
- ⇒誰にとっても安全な地域公共交通の利用環境を整備する。
- ⇒利便性の向上と交流促進に資する拠点づくりを行う。
- ⇒地域資源を生かした観光振興に資する地域公共交通を形成する。
- ⇒運行形態の見直し、改善により地域公共交通利用者の維持・拡大を図る。

2. 計画の目標と数値指標

- ・「地域公共交通に関する基本的な方針」を踏まえ、「計画の目標」と計画の達成状況を評価するための「数値指標」を示す。

【目標例&数値指標例】

基本方針（例）	目標（例）	数値指標（例）
多様なニーズに見合った生活を支える地域公共交通を形成する。	より多くの市民に対する交通サービスの提供	交通不便地域面積の縮小 【単位：km ² 】
誰にとっても安全な地域公共交通の利用環境を整備する。	バリアフリー化対応の充実化	主要駅、バス、タクシー等におけるバリアフリー化率 【単位：％】
利便性の向上と交流促進に資する拠点づくりを行う。	拠点への外出機会の増加	拠点における乗降客数割合 【単位：％】
地域資源を生かした観光振興に資する地域公共交通を形成する。	観光施設等への交通環境の整備	観光資源における来訪者数 【単位：万人/年】
運航形態の見直し、改善により地域公共交通利用者の維持・拡大を図る。	地域公共交通の利用率の向上	地域公共利用率 (年間平均乗降回数など) 【単位：回/人・年】

3. 事業及びその実施主体について

- ・市民、交通事業者、観光事業者、及び行政（国、鹿児島県、姶良市）等による適切な役割分担の基に、計画の目標を達成するための事業を効果的に推進する。

【事業例】

- ⇒利用が低迷するバス運行エリアにおける形態の見直し
- ⇒交通不便地域等への生活支援交通の導入
- ⇒生活便利施設等から利用しやすい停留所の設置（病院、買い物施設等）
- ⇒高齢者の公共交通利用に対する支援
- ⇒公共交通相互を円滑に乗継できる拠点の整備
- ⇒交通拠点等での情報案内・誘導の実施
- ⇒観光施策との連携による公共交通に関する情報提供の充実化
- ⇒買い物支援及び民間送迎サービス事業者との連携・情報共有

4. 計画達成状況の評価について

- ・計画期間を5ヶ年とし、計画期間全体を通じた事業実施の達成状況を評価するとともに、改善に向けたモニタリング体制を確立する。
- ・毎年、事業の実施状況などを整理するとともに、利用状況や評価指標の変化などを継続的に確認する。
- ・中間年次（H30年度）における数値目標の達成状況などを整理・分析し、事業の改善や数値目標の見直しなどを実施する。

以上